



家畜保健衛生所だより

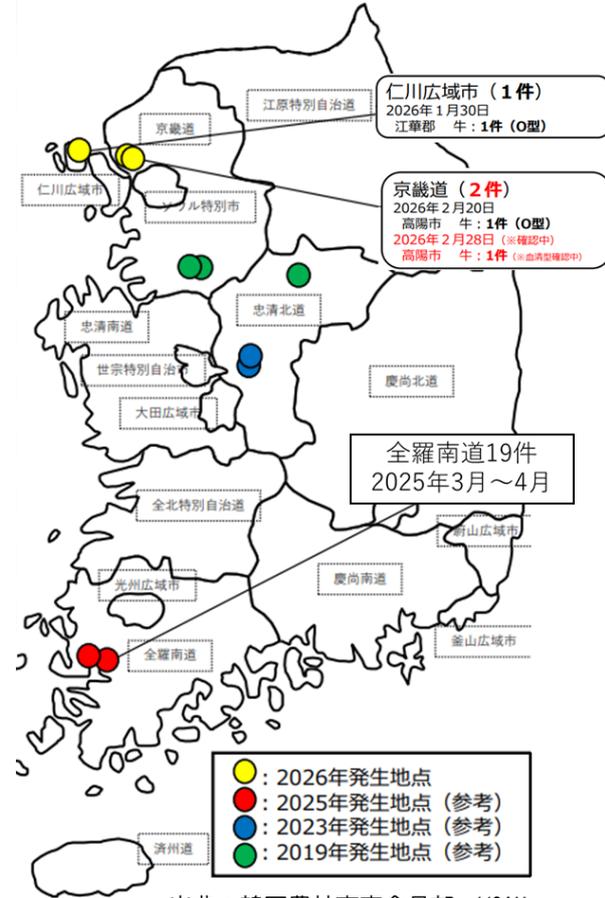
R8.3.5

△韓国で口蹄疫が発生しました△

2026年1月31日、韓国・仁川で9ヶ月ぶりに口蹄疫が発生しました。仁川に隣接する京畿道では、2月20日、28日と口蹄疫の発生が続いています。

今回の発生地域は松山空港からの直行便が就航している仁川空港とも近く、特に中予地域は本病の侵入リスクが極めて高い状況です。

農場の衛生管理を再度確認し、消毒に努め、家畜に異常が認められた場合は速やかに家保に連絡してください。



ウシ、ブタ、ヤギなどの偶蹄目動物にこのような症状を引き起こします。



発熱や食欲不振、泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)ができるのが特徴です。

発生予防対策を徹底しましょう

☑口蹄疫の発生国への渡航を控える

やむを得ず渡航する場合は、帰国後一定期間、農場や衛生管理区域への立ち入りを控えるなど、防疫対策を徹底してください。また、海外からの肉製品の持ち込みは法律で禁止されています。帰国の際は、畜産物を持ち込まないよう十分注意してください。

☑関係者以外の立入制限、農場に立ち入るすべての人・物の消毒

複数言語で書かれた立入禁止看板を設置するなど、必要ない人の立ち入りや、不要物の持ち込みを防ぐ。

☑消毒の徹底

口蹄疫の対策として効果がある消毒液はヨウ素系、塩素系、アルデヒド系のものや石灰です。逆性石けんやアルコールは効果がないので注意してください。

中予家畜保健衛生所	TEL	089-990-1333
	携帯	090-6282-6129 (夜間・休日)